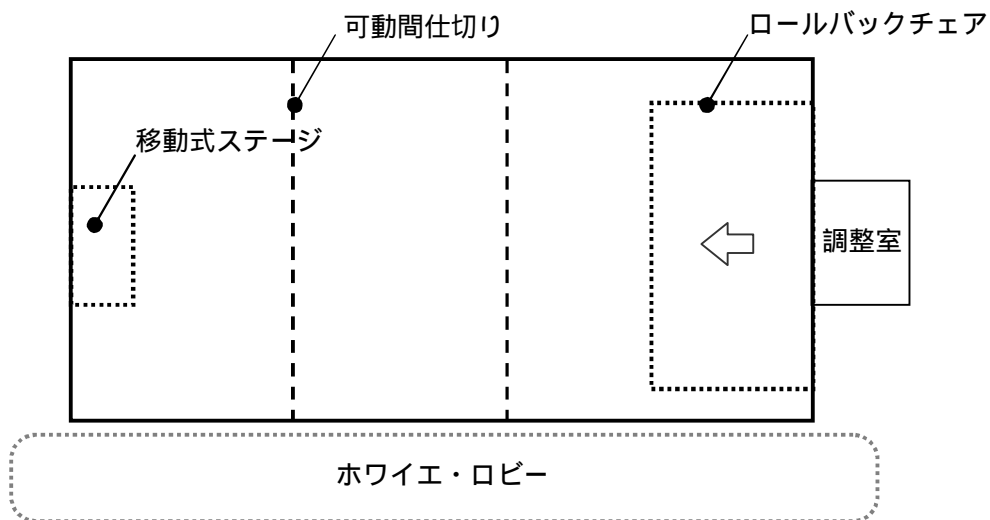
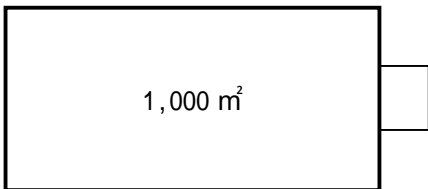
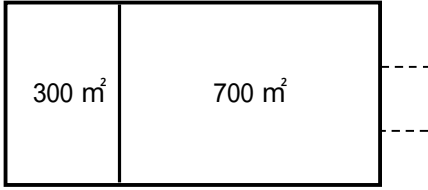
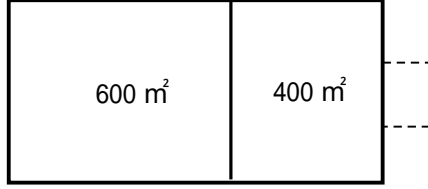
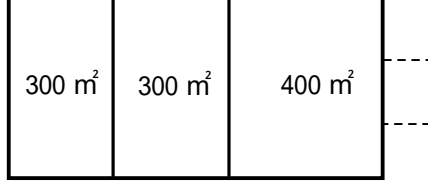


1 交流支援スペースの概要

- ・多目的ホールは可動間仕切り（遮音型）により 400 m<sup>2</sup>・300 m<sup>2</sup>・300 m<sup>2</sup>の3分割が可能なよう計画をする。
- ・音響・照明・映像設備のための調整室をロールバックチェア収納庫上部に設置するよう計画する。



2 利用パターンイメージ

	名称	イメージ図	概要
1	パターン A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1,000 m<sup>2</sup>を一体利用する。</li> <li>・音響設備、照明設備、映像設備は調整室にて行うものとする。</li> </ul>
2	パターン B-1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動間仕切りによりスペースを2分割（300 + 700 m<sup>2</sup>）して使用する。</li> <li>・分割されたスペース各々で、個別のBGMやアナウンスの音響信号、映像信号が供給・操作ができるように計画すること。</li> </ul>
3	パターン B-2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動間仕切りによりスペースを2分割（600 + 400 m<sup>2</sup>）して使用する。</li> <li>・分割されたスペース各々で、個別のBGMやアナウンスの音響信号、映像信号が供給・操作ができるように計画すること。</li> </ul>
4	パターン C		<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動間仕切りによりスペースを3分割して使用する。</li> <li>・3分割されたスペース各々で、個別のBGMやアナウンスの音響信号、映像信号が供給・操作ができるように計画すること。</li> </ul>